


東京地下鉄株式会社第52回社債(一般担保付)(サステナビリティボンド) レポート



東京メトロは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- 2021年10月14日発行の東京地下鉄株式会社第52回社債(一般担保付)(サステナビリティボンド)については、2022年1月末時点で、調達資金(発行諸費用を控除した後の手取金)の全額を対象プロジェクトの一部に充当しました。(下表①)
- 本社債の資金充当による環境・社会効果は以下のとおりです。(下表②)

対象プロジェクト概要		① 調達資金の充当状況(※1)	② インパクト・レポート (下線部:本社債により資金充当した設備またはその効果)
(ア) 駅ホームの 安全性向上 	ホームドアの整備  日比谷線ホームドア	(新規)624百万円	<ul style="list-style-type: none"> ● 設置駅数:<u>3</u>駅(日比谷線仲御徒町駅、日比谷線広尾駅、東西線葛西駅) 〈参考〉2022年3月末時点のホームドア設置駅数:150駅(整備率83%) ● 転落事故件数:<u>0</u>件(※2)
(イ) 自然災害対策  	大規模浸水対策 震災対策  大規模浸水対策 (防水ゲート)  震災対策 (こ線道路橋)	(新規)1,199百万円	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模浸水対策 概要:坑口(トンネルの入口部分)への防水ゲート設置 施工箇所:<u>2</u>箇所 〈参考〉銀座線上野通路線坑口(2022年4月整備完了)、 日比谷線三ノ輪坑口(工事継続中) ● 震災対策 概要:こ線道路橋の耐震補強 施工箇所:<u>6</u>橋 〈参考〉第二清水谷こ線道路橋、第三清水谷こ線道路橋、 第四清水谷こ線道路橋、第六天町こ線道路橋、第一金富町こ線道路橋、 第二金富町こ線道路橋 (2021年10月整備完了)

(※1) (新規)発行日である2021年10月14日以降の投資に充当した金額 (リファイナンス)2021年4月から発行日までの投資に充当した金額 (発行諸費用)本社債発行に伴って要した手数料

(※2)ホームドア設置駅における2021年10月14日~2022年3月31日までに発生したホームからの転落等による鉄道運転事故当該件数。

東京地下鉄株式会社第52回社債(一般担保付)(サステナビリティボンド) レポート



東京メトロは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

対象プロジェクト概要		① 調達資金の充当状況(※1)	② インパクト・レポート (下線部: 本社債により資金充当した設備またはその効果)
<p>(ウ) 新型車両の導入</p> 	<p>有楽町線・副都心線 17000系車両、 半蔵門線18000系車両 の導入</p>  <p>半蔵門線18000系車両</p>	<p>(新規)3,156百万円 (リファイナンス)4,976百万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 編成数:《17000系》<u>2編成(10両編成)</u>、<u>12編成(8両編成)</u> 《18000系》<u>4編成</u> <p>〈参考〉これまでの累計導入数 17000系車両導入数:18編成(2022年3月末時点) 18000系車両導入数:4編成(2022年3月末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出削減量:《17000系》<u>4,766 t-CO₂/年</u>(※3) 《18000系》<u>144 t-CO₂/年</u>(※3)
<p>(エ) 再生可能エネルギーの導入</p> 	<p>太陽光発電システムの設置</p>  <p>千代田線北綾瀬駅 太陽光発電システム</p>	<p>(リファイナンス)3百万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 設置駅数:<u>1駅</u>(千代田線北綾瀬駅) ● 年間発電量:<u>28,724 kWh/年</u>(※4) <p>〈参考〉2021年度太陽光発電システム総発電量:1,289,993 kWh/年(※5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出削減量:<u>13.0 t-CO₂/年</u>(※6)
合計		<p>(新規)4,979百万円 (リファイナンス)4,979百万円 (発行諸費用)42百万円 (計)10,000百万円</p>	—

(※3)17000系は7000系車両との比較であり、18000系は8000系車両との比較。車両原単位(車両1両が1km走行するための電力消費量)や2021年度の年間走行キロ等を基にした推計値。

CO₂排出係数は、電気事業者別排出係数を使用。

(※4)2021年5月稼働開始。

(※5)地上駅(太陽光発電システム稼働中の計11駅)の総発電量。なお、一部の駅において計測装置不具合のため、推計値を使用。

(※6) CO₂排出係数は、電気事業者別排出係数の「代替値」を使用。